# 南種子町の
# 神社・仏閣

SHRINES AND TEMPLES OF MINAMITANE

南種子町教育委員会
南種子町文化財保護審議会

## 発刊にあたって

種子島は、神社・仏閣・民俗神が大変多い島として知られています。中でも南種子町は、古くよりそれぞれの集落毎に神を祀り、寺を建ててきた地域で、今も 174 を超える神社・仏閣・民俗神が鎮座しています。

江戸時代には、天璋院篤姫の伯母にあたる種子島の女殿様「松寿院」が何度も南種子の神社・仏閣を巡り、神や仏に祈りを捧げ、五穀豊穣や無病息災などを祈願しました。

現在では、ロケットの打ち上げ成功が祈願されるなど、南種子の神社・仏閣・民俗神は、祈りの場としても注目を集めています。

また、この地域には、ガローと呼ばれる古い聖地信仰が連綿と受け継がれています。神社・仏閣、そしてガローなどの民俗神が鎮座する聖域や森は、古くよりパワースポットとして知られていて、訪れるものに不思議な癒しを与えてくれます。

本書は、そうした南種子の豊かな神社・仏閣・民俗神についてまとめたものです。この小冊子が、南種子のもつ豊かな歴史について学び、身近に感じていただく一助となれば幸いです。また、場所の分かる地図や写真などをできるだけ多く掲載しましたので、神社・仏閣等を訪れる際のガイドブックとしても利用いただければと思っております。

最後に、本書の刊行にあたりご尽力いただきました町文化財保護審議会委員及び南種子町地域おこし協力隊の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 30 日

南種子町教育委員会
教育長　遠藤　修

# 南種子町の
# 神社・仏閣

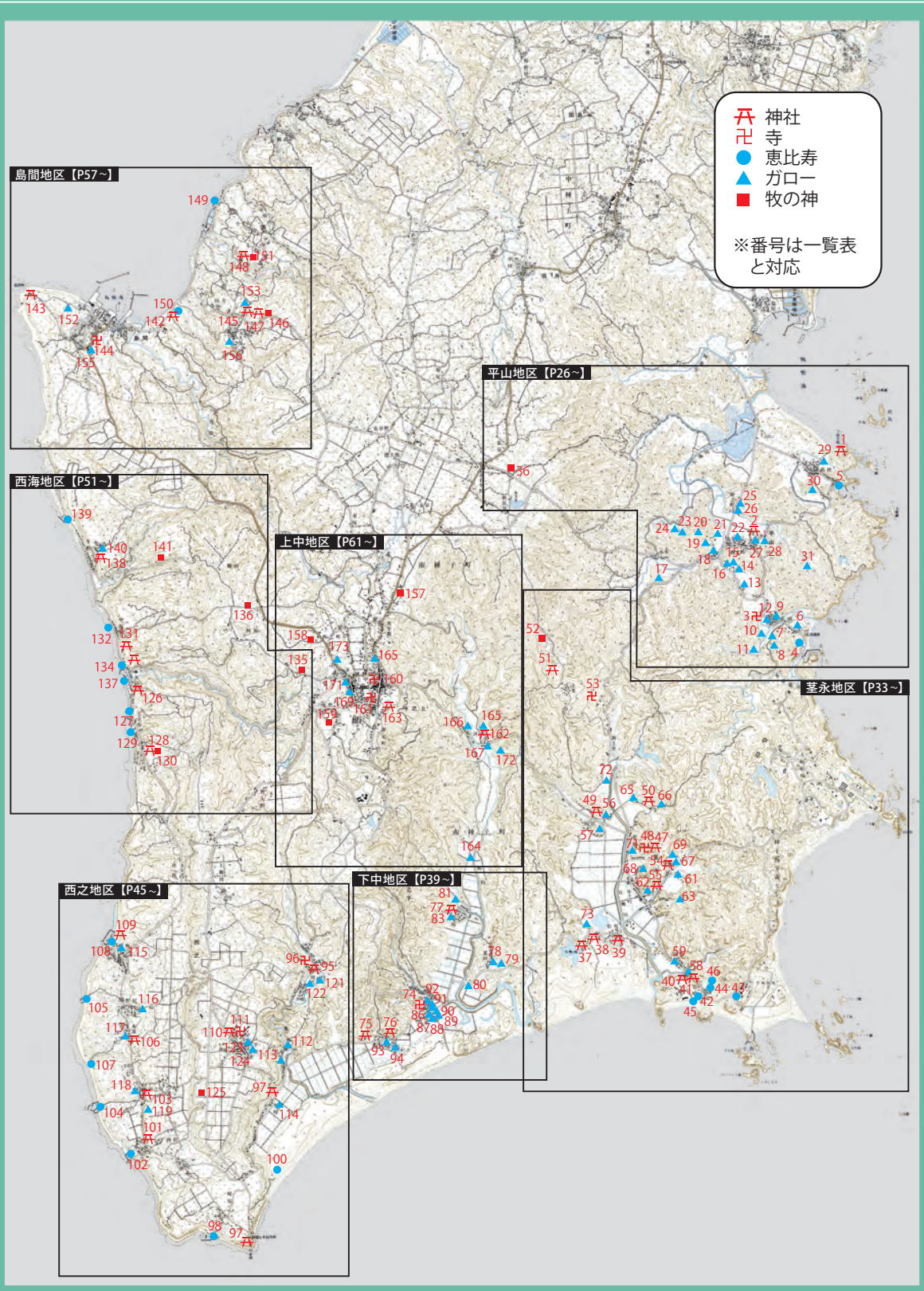
SHRINES AND TEMPLES OF MINAMITANE

南種子町教育委員会
南種子町文化財保護審議会

もくじ

南種子の神社・仏閣の位置 …… 3
南種子の神社・仏閣 ……4-7
南種子の神社・仏閣・ガロー 一覧表 …8-9
■松寿院の巡った神社・仏閣 …… 10~
善福寺 …… 12-13
宝満神社 …… 14-17
下中八幡神社 …… 18-19
御崎神社 …… 20-21
岬神社 …… 22-23
西海の恵比寿 …… 24-25
■平山地区 …… 26~
平山の神社・仏閣位置図 …… 26
平山の神社・仏閣 …… 27
平山のガロー …… 28-32
■茎永地区 …… 33~
茎永の神社・仏閣位置図 …… 33
茎永の神社・仏閣 …… 34-36
茎永のガロー …… 37-38
■下中地区 …… 39~
下中の神社・仏閣位置図 …… 39
下中の神社・仏閣 …… 40
下中のガロー …… 41-44
■西之地区 …… 45~
西之の神社・仏閣位置図 …… 45
西之の神社・仏閣 …… 46-48
西之のガロー …… 49-50
■西海地区 …… 51~
西海の神社・仏閣位置図 …… 51
西海の神社・仏閣 …… 52-55
西海のガロー …… 56
■島間地区 …… 57~
島間の神社・仏閣位置図 …… 57
島間の神社・仏閣 …… 58-59
島間のガロー …… 60
■上中地区 …… 61~
上中の神社・仏閣位置図 …… 61
上中の神社・仏閣 …… 62-64
上中のガロー …… 65-66
あとがき …… 67

# 南種子町の神社・仏閣の位置




SHRINES AND TEMPLES OF MINAMITANE

# 南種子町の
# 神社・仏閣
SHRINES AND TEMPLES OF MINAMITANE

南種子町には、現在、174を超える神社・仏閣・民俗神が鎮座しています。その内訳は、神社が37社、仏閣が10ヶ寺で、恵比寿が22社、牧の神が10社、ガローが95ヶ所です。

江戸時代には、あまりに多くの神社・仏閣があるため、種子島家より2度にわたり神社・仏閣の統廃合令がでたほど、この島では、神や仏が身近な存在でした。南種子には、8つの小学校がありますが、それぞれの学区毎に、地区と呼ばれる自治組織が作られています。それぞれの地区は、いくつかの集落に分かれます。集落は、合計すると58を数えますが、古くからある集落には、必ずと言っていいほど氏神様を祀る神社や寺があります。これらの氏神様は、それぞれの集落の中でも特に居心地の良い場所、清涼感のある場所、深い森の中などに鎮座していますので、訪れるものに不思議なやすらぎを与えてくれます。

また、種子島の人々は古くより神仏を大切にしてきました。その最も古い記録は、続日本紀の文武天皇3年（699年）8月8日の条に「南嶋の献物を伊勢大神宮および諸社に奉る」と記されているものといわれ、南島の一員だった種子島より、これらの神社に供物が捧げられたことが分かります。

恵比寿は、漁業の神様で、豊漁を招く神として浦々で信仰されてきました。種子島では、恵比寿は魚を海から港へ招き寄せるために、海に向かって祀られています。また、西海の恵比寿は、礫浜の岩礁の上に自然石を祀る素朴なもので、古い恵比寿信仰の形をそのまま残すパワースポットとして知られています。

牧の神は、畜産の神様です。この島は古代から良馬を産する島として知られていて、昭和の中頃までは、どの農家でも馬を飼っていました。牧の神は、一説には馬頭観音であると言われています。牧の神の多くは、自然石の周りに蘇鉄を植えて祀られています。

ガローは、かつて種子島の人々と深い関わりのある神であったようです。しかし、長い年月の中で、その本来の姿は忘れ去られてしまい、荒ぶる神、

祟り神であるという畏怖の念だけが伝わっています。この神の名は、伽藍神であるとする意見もありますが、この地に住む古老に尋ねても、今ではこの神の名前さえ知る人はいなくなり、その本当の名は分からないのです。

ガローは、ガランとも呼ばれ、森がガローであることが多いので、ガロー山、ガラン山とも呼ばれます。ガローの森に入ると、ひときわ大きなアコウや椎、タブの大木（この木を取り木や依り木と呼びます。）の根元に、珊瑚石や自然石を積みあげた祭壇がつくられていて、そこがガローの神を祀る場所です。

南種子のガローは、95ヶ所にも及び、他の全ての神社・寺・民俗神よりも多いことから、人々の生活の中に、はるか以前から息づいていたようです。しかし、今ではほとんどのガローで祭祀が行われなくなっています。恵比寿が豊漁を、神社・寺が無病息災、五穀豊穣などの人々の願いを叶えてくれるのに対し、ガローは、願いを掛ければ叶えてくれるというより、近寄ると祟るという性格が強いため、触らぬ神に祟りなしとしてガローに関わらない人が増えていることが大きな原因です。一方で、今でもガロー詣りをする人やガローで祀りをする集落や地区があります。また、シュエー取りなどのガローの祟りを鎮める「まじない」の作法を習い知っている方もいます。ガローは、種子島の中でも際立って南種子に多い神です。この地域独特の民俗神であるガローを巡ると、今まで気がつかなかったこの地域ならではの文化に触れることができるはずです。

本書では、神社・仏閣・民俗神・ガローについて各地区毎に地図で場所を示し、写真をできるだけ使って紹介しています。ぜひ、本書を片手に現地を訪れていただければと思います。

最後になりますが、この本は、民俗学者の下野敏見氏による調査・研究成果に学びながら、町教育委員会、町文化財保護審議会が現地調査・聞き書き調査を行ってまとめました。調査にご協力、ご指導をいただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

ガロー山を伐採したり、壊したりすると祟るという言い伝えによって、多くのガロー山は、ブルドーザーによる破壊から免れてきました。南種子では、広大な水田の中に、離れ小島のように森が残る不思議な景観が残されていますが、この森のほとんどは、ガロー山や森山と呼ばれる聖地であり、いにしえより変わらないこの島独特の水田景観なのです。

写真：下中八幡神社の森山

# 南種子の神社・仏閣・ガロー　一覧表

| No | 名　称 | 場　所 | 分類 |
|---|---|---|---|
| 1 | 千座八幡神社 | 平山浜田 | 神社 |
| 2 | 平山神社 | 平山中之町 | 神社 |
| 3 | 善福寺 | 平山広田 | 寺 |
| 4 | 広田の恵比寿 | 平山広田 | 恵比寿 |
| 5 | 浜田の恵比寿 | 平山浜田 | 恵比寿 |
| 6 | 丸山のガロー | 平山広田浜渡 | ガロー |
| 7 | アンノ峯のガロー | 平山広田深無田 | ガロー |
| 8 | 山田のガロー | 平山広田深無田 | ガロー |
| 9 | 寺の山のガロー | 平山広田道上 | ガロー |
| 10 | 上河須田のガロー | 平山広田吉原 | ガロー |
| 11 | 南田のガロー | 平山広田吉原 | ガロー |
| 12 | 園田のガロー | 平山広田原 | ガロー |
| 13 | 中畠十市のガロー | 平山西之町無田 | ガロー |
| 14 | 前田のガロー | 平山西之町 | ガロー |
| 15 | 助十ガロー (1) | 平山西之町前田 | ガロー |
| 16 | 彦志ガロー | 平山西之町前田 | ガロー |
| 17 | 水牛のガロー | 平山西之町 | ガロー |
| 18 | 山田のガロー (1) | 平山西之町 | ガロー |
| 19 | 山田のガロー (2) | 平山西之町 | ガロー |
| 20 | 西之園のガロー | 平山西之町 | ガロー |
| 21 | 小園のガロー | 平山西之町 | ガロー |
| 22 | 平畠のガロー | 平山西之町 | ガロー |
| 23 | 兵次郎のガロー | 平山西之町大谷 | ガロー |
| 24 | 仙兵ガロー | 平山西之町大谷 | ガロー |
| 25 | 徳瀬のガロー (1) | 平山中之町 | ガロー |
| 26 | 徳瀬のガロー (2) | 平山中之町 | ガロー |
| 27 | 向井里のガロー | 平山中之町 | ガロー |
| 28 | 長田仙兵ガロー | 平山中之町 | ガロー |
| 29 | 古田のガロー | 平山浜田 | ガロー |
| 30 | 大坪のガロー | 平山浜田 | ガロー |
| 31 | 九日田のガロー | 平山中之町 | ガロー |
| 32 | ヒジリデンの森 | 平山所在不明 | ガロー |
| 33 | 小川のガロー | 平山所在不明 | ガロー |
| 34 | 与左衛門のガロー | 平山所在不明 | ガロー |
| 35 | 助十ガロー (2) | 平山所在不明 | ガロー |
| 36 | 平山の牧の神 | 平山 | 牧の神 |
| 37 | 宝満神社 | 茎永松原 | 神社 |
| 38 | 松原神社 | 茎永松原 | 神社 |
| 39 | 下松の神<br>(磐戸神社) | 茎永松原 | 神社 |
| 40 | 阿多羅経神社 | 茎永阿多羅惜経 | 神社 |
| 41 | 鬼子母神 | 茎永阿多羅惜経 | 神社 |
| 42 | 竹崎の恵比寿 | 茎永竹崎 | 恵比寿 |
| 43 | 大崎の恵比寿 | 茎永竹崎 | 恵比寿 |
| 44 | 島崎長家の恵比寿 | 茎永竹崎 | 恵比寿 |
| 45 | 島崎彦家の恵比寿 | 茎永竹崎 | 恵比寿 |
| 46 | 島崎善家の恵比寿 | 茎永竹崎 | 恵比寿 |
| 47 | 中部神社 | 茎永中部 | 神社 |
| 48 | 遠妙寺 | 茎永中部 | 寺 |
| 49 | 雨田神社 | 茎永雨田 | 神社 |
| 50 | 片板神社 | 茎永片板 | 神社 |
| 51 | 上里神社 | 茎永上里 | 神社 |
| 52 | 上里のマキの神 | 茎永上里 | 牧の神 |
| 53 | 善林寺跡 | 茎永上里 | 寺 |
| 54 | 宇都浦神社 | 茎永宇都浦 | 神社 |
| 55 | 仲之町神社 | 茎永仲之町 | 神社 |
| 56 | コーガシラのガロー | 茎永雨田 | ガロー |
| 57 | 峯先のガロー | 茎永雨田 | ガロー |
| 58 | 矢八ガロー | 茎永阿多羅惜経 | ガロー |
| 59 | 川向江のガロー<br>(中島ガロー) | 茎永阿多羅惜経 | ガロー |
| 60 | 峯ヶ山のガロー | 茎永所在不明 | ガロー |
| 61 | 山田のガロー | 茎永宇都浦 | ガロー |
| 62 | 雪の子ガロー | 茎永仲之町 | ガロー |
| 63 | 藤田のガロー | 茎永仲之町 | ガロー |
| 64 | リキズのガロー | 茎永所在不明 | ガロー |
| 65 | 履脱田のガロー | 茎永片板 | ガロー |
| 66 | 片板のガロー | 茎永片板 | ガロー |
| 67 | 園田のガロー | 茎永宇都浦 | ガロー |
| 68 | 白木峯のガロー | 茎永中部 | ガロー |
| 69 | ヨシ牟田のガロー<br>(葭原ガロー) | 茎永宇都浦 | ガロー |
| 70 | 山田惣八ガロー | 茎永所在不明 | ガロー |
| 71 | 菅原のガロー | 茎永菅原 | ガロー |
| 72 | 大宮田のガロー | 茎永上里 | ガロー |
| 73 | 御田の森 | 茎永松原 | ガロー |
| 74 | 本善寺 | 下中里 | 寺 |
| 75 | 下中八幡神社 | 下中真所 | 神社 |
| 76 | 浜之里神社 | 下中真所 | 神社 |
| 77 | 郡原神社 | 下中郡原 | 神社 |
| 78 | 夏田のガロー (1) | 下中夏田 | ガロー |
| 79 | 夏田のガロー (2) | 下中夏田 | ガロー |
| 80 | 三反田のガロー | 下中夏田 | ガロー |
| 81 | 寺川のガロー | 下中郡原 | ガロー |
| 82 | 内の田のガロー | 下中郡原所在不明 | ガロー |
| 83 | 婆じょうヶ峯のガロー | 下中郡原 | ガロー |
| 84 | スゲノクボのガロー | 下中所在不明 | ガロー |
| 85 | 喜四クボのガロー | 下中所在不明 | ガロー |
| 86 | 中道のガロー | 下中里 | ガロー |

| No | 名　　称 | 場　　所 | 分 類 | No | 名　　称 | 場　　所 | 分 類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 87 | 里のガロー (1) | 下中里 | ガロー | 131 | 中ノ塩屋神社 | 西海大川 | 神社 |
| 88 | 里のガロー (2) | 下中里 | ガロー | 132 | 中ノ塩屋の恵比寿 | 西海大川 | 恵比寿 |
| 89 | 里のガロー (3) | 下中里 | ガロー | 133 | 大川神社 | 西海大川 | 神社 |
| 90 | 里のガロー (4) | 下中里 | ガロー | 134 | 大川の恵比寿 | 西海大川 | 恵比寿 |
| 91 | 山神のガロー (1) | 下中山神 | ガロー | 135 | 大川の牧の神 | 西海 | 恵比寿 |
| 92 | 山神のガロー (2) | 下中山神 | ガロー | 136 | 中ノ塩屋の牧の神 | 西海 | 神社 |
| 93 | 真所のガロー (1) | 下中真所 | ガロー | 137 | 広浜家の恵比寿 | 西海大川 | 恵比寿 |
| 94 | 真所のガロー (2) | 下中真所 | ガロー | 138 | 牛野神社 | 西海牛野 | 神社 |
| 95 | 田代神社 | 西之田代 | 神社 | 139 | 州崎の恵比寿 | 西海牛野 | 恵比寿 |
| 96 | 金剛寺跡 | 西之田代 | 寺 | 140 | ナゴーダのガロー | 西海牛野 | ガロー |
| 97 | 本村神社 | 西之本村 | 神社 | 141 | 牛野の牧の神 | 西海牛野 | 牧の神 |
| 98 | 御崎神社 | 西之崎原 | 神社 | 142 | 宮松原神社 | 島間仲之町 | 神社 |
| 99 | 門倉の恵比寿 | 西之崎原 | 恵比寿 | 143 | 岬神社 | 島間田尾 | 神社 |
| 100 | 本村の恵比寿 | 西之本村 | 恵比寿 | 144 | 本妙寺 | 島間田尾 | 寺 |
| 101 | 下西目神社 | 西之下西目 | 神社 | 145 | 上方神社 | 島間向方 | 神社 |
| 102 | 下西目の恵比寿 | 西之下西目 | 恵比寿 | 146 | 上方の牧の神 | 島間向方 | 牧の神 |
| 103 | 中西目神社 | 西之 小田・前之原 | 神社 | 147 | 霧島神社 | 島間向方 | 神社 |
| 104 | 前之原の恵比寿 | 西之前之原 | 恵比寿 | 148 | 滝口神社 | 島間小平山 | 神社 |
| 105 | 野尻の恵比寿 | 西之野尻 | 恵比寿 | 149 | 稲子泊の恵比寿 | 島間小平山 | 恵比寿 |
| 106 | 木原神社 | 西之木原 | 神社 | 150 | 島間浦の恵比寿 | 島間仲之町 | 恵比寿 |
| 107 | 木原の恵比寿 | 西之木原 | 恵比寿 | 151 | 小平山の牧の神 | 島間小平山 | 牧の神 |
| 108 | 砂坂の恵比寿 | 西之砂坂 | 神社 | 152 | オーガモリのガロー | 島間田尾 | ガロー |
| 109 | 砂坂神社 | 西之砂坂 | 神社 | 153 | ナクバロのガロー | 島間向方 | ガロー |
| 110 | 平野神社 | 西之平野 | 寺 | 154 | 小平山のガロー | 島間小平山 | ガロー |
| 111 | 本国寺 | 西之平野 | 寺 | 155 | 石塔山のガロー | 島間田尾 | ガロー |
| 112 | 木カマスのガロー | 西之本村 | ガロー | 156 | 大塚山のガロー | 島間大久保 | ガロー |
| 113 | 浅香野のガロー | 西之本村 | ガロー | 157 | 大宇都の牧の神 | 上中大宇都 | 牧の神 |
| 114 | 中ん崎のガロー | 西之本村 | ガロー | 158 | 中西・上野の牧の神 | 上中中西 | 牧の神 |
| 115 | 砂坂のガロー | 西之砂坂 | ガロー | 159 | 焼野の牧の神 | 上中焼野 | 牧の神 |
| 116 | 野尻のガロー | 西之野尻 | ガロー | 160 | 信光寺 | 上中本町 | 寺 |
| 117 | 木原のガロー | 西之木原 | ガロー | 161 | 照南寺 | 上中本町 | 寺 |
| 118 | 上小田のガロー | 西之小田 | ガロー | 162 | 上中神社 | 上中河内 | 神社 |
| 119 | 宮園のガロー | 西之前之原 | ガロー | 163 | 上野神社 | 上中上野 | 神社 |
| 120 | 下西目のガロー | 西之下西目 | ガロー | 164 | 木田のガロー | 上中河内 | ガロー |
| 121 | 平田のガロー | 西之田代 | ガロー | 165 | 寺田孫十ガロー | 上中河内 | ガロー |
| 122 | 宇都のガロー | 西之田代 | ガロー | 166 | ソエのガロー | 上中河内 | ガロー |
| 123 | トノナノソノのガロー | 西之平野 | ガロー | 167 | カジヤの峯のガロー | 上中河内 | ガロー |
| 124 | 曽中のガロー | 西之平野 | ガロー | 168 | 木場のガロー | 上中 | ガロー |
| 125 | 西之の牧の神 | 西之平野 | 牧の神 | 169 | 松隅のガロー | 上中 | ガロー |
| 126 | 広浜神社 | 西海大川 | 神社 | 170 | 黒山のガロー | 上中 | ガロー |
| 127 | 上立石の恵比寿 | 西海上立石 | 恵比寿 | 171 | 中西のガロー | 上中中西 | ガロー |
| 128 | 下立石塩釜神社 | 西海下立石 | 神社 | 172 | ガローケ峯のガロー | 上中平谷 | ガロー |
| 129 | 下立石の恵比寿 | 西海下立石 | 恵比寿 | 173 | 長木田のガロー | 上中 | ガロー |
| 130 | 下立石の牧の神 | 西海下立石 | 牧の神 | 174 | 上野のガロー | 上中 | ガロー |

# 松寿院の巡った神社・仏閣

松寿院は、天璋院篤姫の伯母にあたる幕末の種子島の女殿様です。その生涯で幾度も南種子の神社・仏閣を巡り、祈りを捧げ、五穀豊穣や無病息災などを祈願しました。

松寿院が愛した南種子の神社・仏閣を紹介します。

# 平山神社

祭神：豊受大神（地図 26 頁）

平山神社は、平山仲之町集落に鎮座する神社です。この神社の裏手には、アコウの大木が森をなしていて、訪れるものに畏敬の念を抱かせます。

この地には元々、松寿院も訪れた善福寺がありましたが、明治 2 年の廃仏毀釈の際に廃され、その代わりに豊受大神を勧請し、平山神社が建立されました。以来、平山の神信仰の中心として祭事が行われていて、毎年 10 月頃に願成就の九月踊りが奉納されます。また、社殿の隣には、幕末に活躍した勤王の志士で、平山出身の菊池竹庵の墓碑があります。

© 氷森　記心

# 平山神社の鎮守の森

平山神社の境内裏手には、アコウの森が広がる

© 氷森　記心

# 平山神社の願成就奉納踊

（地図二十六頁）

平山神社では毎年 10 月頃に、九月踊りが奉納されます。

# 善福寺

（地図二十六頁）

善福寺は、平山地区広田に所在する法華宗の寺です。この寺は、江戸時代には平山村全体の菩提寺として大切にされ、現在の平山神社の場所にありました。一説によれば長享年間（1487 ～ 1488）創建とされ、松寿院も何度も訪れた古刹です。明治 2 年の廃仏毀釈により一時的に廃寺となりましたが、広田の地に再興されました。広田では、8 月 15 日に石塔山で石塔祭を行い、翌 16 日の早朝に善福寺より祖霊を送る、昔ながらの精霊送りが今も受け継がれています。

広田石塔山での石塔祭

善福寺境内で行う精霊送り

© 氷森　記心

# 宝満神社

祭神：玉依姫命（地図 33 頁）

宝満神社は、茎永松原集落の宝満池のほとりに鎮座する古社です。

宝満池では古来鴨猟が盛んで、その猟法は、県の無形民俗文化財に指定されています。また、この神社に古くから伝わる赤米とその御田植祭は、国の無形民俗文化財に指定されていて、当社の歴史の古さを物語ります。

現在では、ロケットの打ち上げ成功が祈願される神社としても知られ、宝くじ当選のご利益のある神社としても有名です。

この神社をとりまく森は、古くより斧を入れることが禁じられており、イヌマキの大木の並木が不思議な静寂を感じさせ、参拝者に癒しをあたえてくれます。

# 「種子島宝満神社の御田植祭」（国文化財）
# 「宝満池の鴨突き網猟」（県文化財）

毎年４月３日に行われる、赤米の御田植祭は、「シュエイとり」の神事からはじまります。

この神事では、夜明け前、神社にほど近い一陣の浜で７つの波を乗り越え、清らかな潮を宮司が汲みます。日が昇ると、田植歌にあわせて古式ゆかしく御田植がとりおこなわれます。

秋には、氏子により、豊作への感謝を込め、願成就の踊りが奉納されます。

冬になると宝満池を舞台に、中世から続く伝統の鴨突き網猟が行われます。

宝満神社では、古くより受け継ぐ、四季折々の伝統文化が今も息づいています。

赤米の御神米

田植え歌にあわせて赤米の御田植

願成就の奉納踊り（上之町）

宝満池の鴨突き網猟

# 下中八幡神社

下中八幡神社の鳥居と森山

下中八幡神社は、中之下真所に鎮座する古社で、毎年３月に白米のお田植祭が森山にある御神田で行われます。室町時代（1426 年）の銘がある県指定文化財の鰐口（神社の拝殿で鳴らす鈴に似た音具）を宝物とする島内有数の神社で、古くは航海の安全祈願などもされました。西之中西目の氏神は明治時代にこの神社から分霊したものです。

奉納踊り（昭和 61 年）

下中八幡神社の御田植祭

下中八幡神社の拝殿

鰐　口

祭神：応仁天皇、天照大神（地図三十九頁）

# 本善寺

（地図三十九頁）

山神どんの力石

本善寺は、下中地区山神に所在する法華宗の寺です。江戸時代には下中之村（現在の下中）全体の菩提寺でした。境内には山神どんの背負石と呼ばれる力石が置かれています。願成就祭りの日には、下中地区の人々がヤートセーなどの踊りを奉納します。

奉納踊り（ひょうたん踊り）

# 御崎神社

御崎神社の鳥居
© 氷森　記心

御崎神社は、鉄砲伝来で知られる西之の門倉岬に鎮座する古社で、江戸時代には島尾大明神と呼ばれ、日本の南端から国土の安穏を祈願する神社としてあがめられてきました。この神社では、旧９月 19 日に願成就の踊りが奉納されます。中でも、「国土安穏」と呼ばれる大踊りは、江戸時代の古文書にも記されている島内最古の大踊りとして有名です。

国土安穏の大踊り

御崎神社

祭神：大国主命、少名彦神（地図四十五頁）

# 本国寺

本国寺での盆踊

本国寺は、江戸時代には本因寺と呼ばれ、現在の本村神社にあった古刹です。この寺では毎年 8 月 16 日に境内で古式ゆかしい盆踊が行われます。カムキと呼ばれる仮面をつけ、静かに哀愁を帯び踊られる本国寺の盆踊は、第 65 回全国民俗芸能大会に出演し、国の記録文化財に選択されるなど学術的な価値の極めて高い古い盆踊です

カムキで顔を覆う

第 65 回全国民俗芸能大会

盆の供物

精霊棚

施餓鬼供養の法会

（地図四十五頁）

# 岬神社

（地図五十七頁）

岬神社は、応神天皇と彦火々出見命を祭神とし、島間地区の氏神です。

文政八（1825）年に日昌上人（島間出身）が国分八幡宮より八幡神を勧請したもの。拝殿の隣には日昌上人の墓石があり、境内にはいくつもの石碑が立ち並び、その奥は島間岬の突端となり屋久島が目の前に広がります。

秋の願成就には、伝統芸能が奉納されます。

日昌上人の墓石

岬神社拝殿

© 氷森　記心

# 奉納踊り「かじょうがね」

秋の願成就祭の日になると岬神社境内では、古くから伝わる伝統芸能が奉納されます。

中でも、「かじょうがね」は琉球から伝わった踊りとされ、異国情緒漂う華やかな踊りです。囃し手は、種子島の踊りには珍しい鼓（つづみ）を打ちながら唄います。

© 氷森　記心

# 西海の浜エビス

（地図 51 頁）

西海地区の磯浜には、古くより漁の神様「エビス様」がいくつも祀られています。岩礁に自然石を立てたり、石を積み上げて塚をつくることで祀る原始的な西海のエビスは、「浜エビス」とも呼ばれています。この西海の浜エビスは、古いエビス信仰の形をそのまま残す、日本列島最南端のエビスとして学術的にも大変価値が高いものです。

写真は、大川の恵比寿。自然の岩肌に、海の底から拾った円礫をいくつも積み上げ恵比寿とし、榊の枝を両側に供えています。

屋久島に夕日が沈む頃、大川の恵比寿は神々しい雰囲気に包まれます。

いにしえより、恵比寿には魚を招く不思議な力が宿ると言い伝えられてきました。

現在は、種子島有数のパワースポットとして、訪れる観光客を魅了しています。

# 平山地区

HIRAYAMA AREA

# ■ 平山の神社・仏閣

（地図 24 頁）

## 番号 1 千座八幡神社

祭神：天照大神

平山浜田にある浜田海浜公園から千座の岩屋へ続く道路沿いに鎮座する。元々は、「笹森山様」として字佐山に祀られていたが、明治 31 年に千座の岩屋の山頂に遷座し、その鳥居は千座の岩屋手前の砂浜に建てられていた。現在地には平成 11 年に遷座している。

## 番号 4 広田の恵比寿

広田浦の恵比寿で、今でも浦祭が行われる。南種子の恵比寿の祭神は、いずれも恵比寿神である。広田遺跡ミュージアムから道沿いに 200m ほど行った海に面した岩山にあり、岩穴風呂も掘られている。

## 番号 5 浜田の恵比寿

浜田浦の恵比寿で、今でも浦祭が行われる。浜田港の奥の漁港施設の側にある。

# ■平山のガロー

（地図 24 頁）

## 番号 6 丸山のガロー

広田の字浜渡にあるガローで、浜渡のガローともいい、広田遺跡ミュージアム駐車場横にある。アコウの大木が取り木である。

## 番号 12 園田のガロー

広田の字広田宅地にあり、隣の田を園田ということから園田のガローと呼ばれる。アコウの大木が取り木である。

## 番号 13 中畠十市のガロー

西之町の字無田にあるガロー。

## 番号 14 前田のガロー

平山西之町西之町にあり、ツリイ ( 井戸、湧き水 ) の場所が、ガローである。

## 番号 15 助十のガロー

西之町の字前田の山中にある。椎の木が取り木である。12 月 31 日に今でも祀りを行っている。

## 番号 17 水牛のガロー

西之町の水牛にある。平山から茎永に続く旧道沿いにあり、大変怖い場所だったという。椎の木の根元に祀っていて、旧暦の 6 月 15 日に祭祀を行う。

## 番号 20 西之園のガロー

西之町にあるガローで西田家を中心に祭祀を行っている。

## 番号 22 平畠のガロー

西之町の平畠にあるガローで、小川・上妻・日高家などで祭祀をしている。

## 番号 24 仙兵ガロー

大谷の字御仏供田 ( おぶくでん ) にある。取り木はタブの木があったが、昭和 50 年代に台風で倒れ枯死した。

## 番号 25 徳瀬のガロー (1)

中之町の徳瀬にあるガローで珊瑚石の祭壇の上に祠が鎮座する。

## 番号 26 徳瀬のガロー (2)

中之町徳瀬にある井戸のガロー。徳瀬のガロー (1) と本来はセットであったという。

## 番号 27 向井里のガロー

中之町の向井里に所在する。ガロー入口には、巨大なアコウの木があり、その奥に取り木と明治 27 年の銘のある石の祠がある。近くの水神とセットとなりガローを形成している。正月や盆に祀りを行う。

## 番号 28 長田仙兵ガロー

中之町にあり、取り木はタブの大木があったが、昭和 50 年代後半に台風で倒れ枯死した。大木の根元には珊瑚石の祭壇があった。

## 番号 31 九日田のガロー

中之町の九日田にあるガロー。水田の脇にあり、近くには水が湧く。珊瑚石の祭壇がある。

### 番号 7 アンノ峯のガロー

広田の字深無田にあるアコウの木が取り木のガロー。

### 番号 8 山田のガロー

広田の字深無田にあり、椎の木が取り木のガローだった。農道工事等のため現在は場所が分からない。

### 番号 9 寺の山のガロー

広田の字道上にあり、昔、善福寺があった寺の山の山裾にあるガロー。

### 番号 10 上河須田のガロー

広田の字吉原にある、椎の木が取り木のガロー。

### 番号 11 南田のガロー

広田の字吉原にあるアコウの木が取り木のガロー。農道工事等のため現在は場所が分からない。

### 番号 16 彦志ガロー

西之町の字前田にあるガロー。

### 番号 18 山田のガロー (1)

西之町の山田にあるガロー。

### 番号 19 山田のガロー (2)

西之町の山田にあるガロー。

### 番号 21 小園のガロー

西之町にあったガロー。道路拡張工事で消滅した。

### 番号 23 兵次郎のガロー

西之町大谷にあるガロー。

### 番号 29 古田のガロー

浜田の古田にあるガロー。

### 番号 30 大坪のガロー

浜田の大坪にあるガロー。

### 番号 32 ヒジリデンの森

平山所在不明

### 番号 33 小川のガロー

平山所在不明

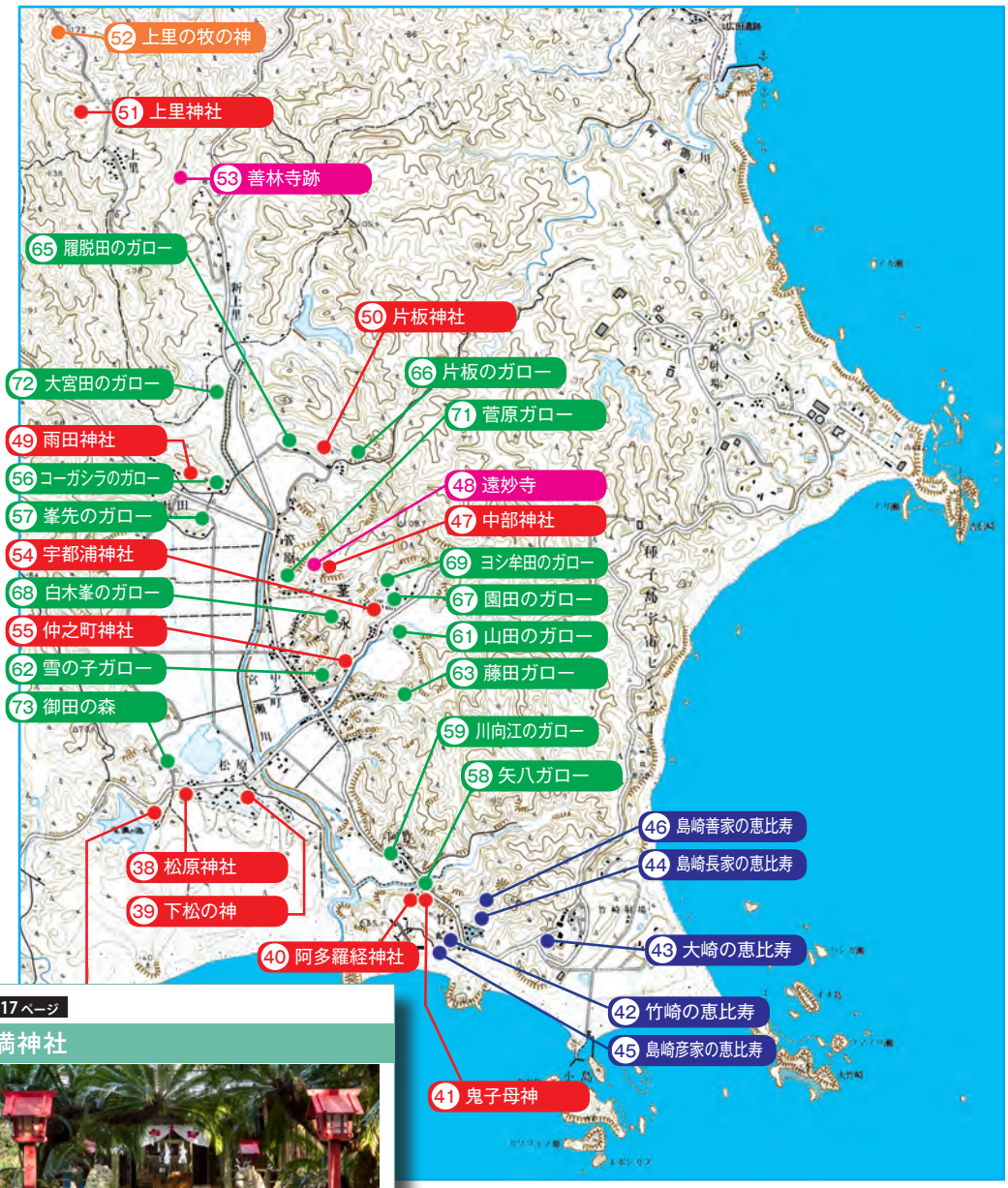
### 番号 34 与左衛門のガロー

平山所在不明

### 番号 35 助十ガロー (2)

平山所在不明

# 茎永地区




14-17 ページ

## 宝満神社

KUKINAGA AREA

# ■茎永の神社・仏閣

（地図 33 頁）

## 番号 38 松原神社

祭神：豊受大神

松原集落の氏神様。春のウマヤキ、夏の六月灯、秋の願成就祭などが行われる。

## 番号 39 下松の神（磐戸神社）

松原集落内に鎮座する冷水家、上松家などの氏神。以前は、雨田の冷水にあった。

## 番号 40 阿多羅惜経神社（豊受神社）

祭神：豊受大神

阿多羅惜経集落の氏神様。昔は、この神社の前の広場で九月踊りを奉納した。

## 番号 41 鬼子母神

阿多羅経神社の手前にある、安産、子育の神様。今でも、安産祈願や子供の無事な成長を祈りに人々が訪れる。

## 番号 42 竹崎の恵比寿

竹崎集落の浦人が豊漁を祈願し祀っている恵比寿様。以前は、竹崎の小型ロケット射点近くの小山の頂にあった。年に数回、浦祭りが行われる。

## 番号 43 大崎の恵比寿

大崎集落の浦人が豊漁を祈願し祀っている恵比寿様。ロケット基地の建設前は、大崎の中型ロケット射点近くの山にあった。現在は、この神社でロケット打ち上げ祈願もされる。

## 番号 44 島崎長家の恵比寿

竹崎の島崎家の長家（名前に長の字がつく一族）が祀る恵比寿様、氏神様。

## 番号 45 島崎彦家の恵比寿

竹崎の島崎家の彦家（名前に彦の字がつく一族）が祀る恵比寿様、氏神様。

## 番号 46 島崎善家の恵比寿

竹崎の島崎家の善家（名前に善の字がつく一族）が祀る恵比寿様、氏神様。

## 番号 47 中部神社

祭神：豊受大神

中部集落の氏神様。

## 番号 48 遠妙寺

遠妙寺は、松寿院も訪れた法華宗の古刹。江戸時代の住職「正覚院日敬上人」は、とても法力の強い上人様で、茎永の人々は、受験や運動会などの際に、合格や勝利を祈願し、上人の墓石を「ながらめ」で削り取り、お守りとした。

## 番号 49 雨田神社

祭神：豊受大神

雨田集落の氏神様。

## 番号 50 片板神社

祭神：玉依姫命

茎永地区菅原集落の片板に鎮座。祭神は、宝満神社と同じ玉依姫命であり、玉依姫命の１番大切な家来を住まわせた場所であるという伝説が残っている。昔は宝満神社の御田植祭の前日に、片板神社の御神田の田植を行った。この御神田は、片板のガローの近くにあった。

## 番号 51 上里神社

祭神：最上肥前守、豊受大神

茎永地区上里集落に鎮座。祭神の最上肥前守は、戦国時代に上里で善政を行った領主。神社の創建は、1795（寛政 7）年で、1797（寛政 9）年に書かれた縁起書も残されている。江戸時代の上里は、茎永と同等の１つの村であり、上里神社では、毎年 11 月 15 日に比地利祭と呼ばれる独特な祭事を行っていた。

上里神社拝殿

## 番号 52 上里の神

上里の牧の神で、大きなソテツと自然石がある。

## 番号 53 善林寺跡

上里の中心的な寺だったが、明治２年の廃仏毀釈で廃寺となった。境内跡には多数の石造物が並んでいる。

## 番号 54 宇都浦神社

祭神：豊受大神

宇都浦集落の氏神様。

## 番号 55 仲之町神社

祭神：豊受大神

仲之町集落の氏神様。

# ■茎永のガロー

（地図 33 頁）

茎永には、18 ガローと称される宝満神社の祭神である玉依姫の伝説にちなんだガローが存在していた。江戸時代の茎永には 9 つの門があったが、各門に概ね 2 つのガローがあったらしい。これらのガローは、江戸時代に 編纂された宝満神社の縁起書や明治期に記された社人文書にその由来などが記されている。今でも、7 つのガローが残っているが、8 つのガローは農地造成や防災工事などで消滅しており、3 つのガローがその所在地すら不明となっている。御取木とよばれるガローの御神木の根元で祀りをした。

### 番号 57　峯先のガロー　茎永雨田

昔、このガローのあたりでは、ウマヤキが行われていた。

### 番号 59　川向江のガロー　茎永阿多羅惜経

中島のガローともいい、砂森 ( 砂窪 ) といわれる阿多羅経公民館の地にあった。近くの土手は中島の土手といい死棺を担いで通ってはならなかった。

### 番号 56　コーガシラのガロー

雨田神社の横にあるガロー。昔から入ってはいけない場所として恐れられてきた。

### 番号 58　矢八ガロー

宝満神社の社人を務める家柄であった岩下家のガロー。阿多羅惜経神社へ続く道沿いに鎮座する。

### 番号 60　峯ヶ山のガロー

所在・由来ともに不明。

### 番号 61　山田のガロー

今はない。

### 番号 62　雪の子ガロー

平成 8 年の山崩れで消滅した。

### 番号 63　藤田のガロー

大まかな位置だけが伝わる

### 番号 64　リキズのガロー

所在・由来ともに不明。

### 番号 65　履脱田ガロー

農地整理で消滅した。

### 番号 67　園田のガロー

大まかな位置だけが伝わる。

### 番号 68　白木峯のガロー

椎木門にある。

### 番号 69　ヨシ牟田のガロー

葭原ガローとも呼ばれ、九郎迫門の後迫家が社人であった。

### 番号 70　山田惣八ガロー

所在・由来ともに不明。

### 番号 72　大宮田のガロー

大まかな位置だけが伝わる。

## 番号 66 片板のガロー

屋子崎門にあり、三角田のガロー田があった。椎の木の取り木がある。

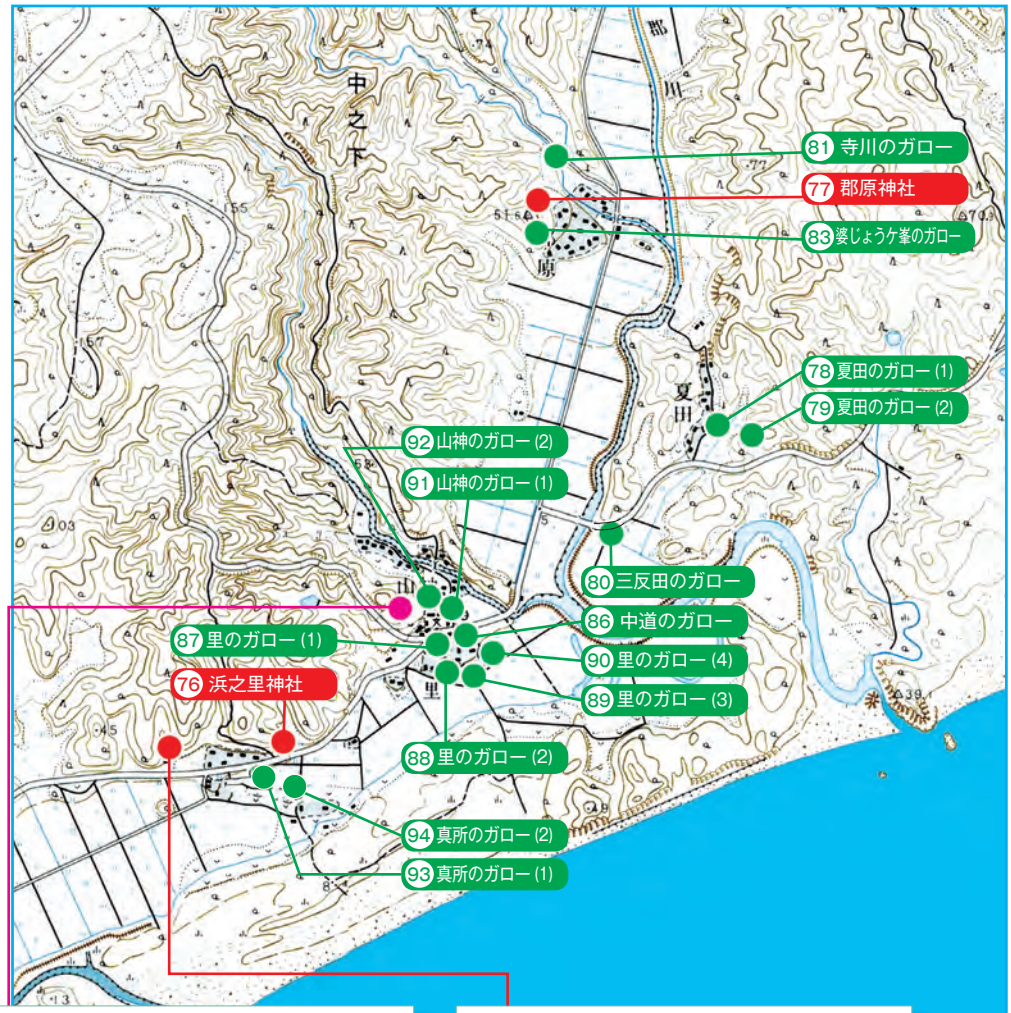
## 番号 71 菅原のガロー

茅切門にあるガロー。

## 番号 73 御田の森

宝満神社の御神田に隣接するガロー。御取木の根元に珊瑚石の祭壇があり、ここで御田植祭などの神事の際に祀りが行われる。

# 下中地区




19 ページ

## 本善寺

18 ページ

## 下中八幡神社

SHIMONAKA AREA

# ■ 下中の神社・仏閣

（地図 39 頁）

## 番号 76 浜之里神社　（後々女神社）

祭神：後々女

浜之里神社は、大正 12 年に真所の氏神として建てられ、祭神は後々女である。真所は、中世には浜之里と呼ばれていたので浜之里神社と称した。

後々女は、戦国時代に真所八幡神社の祭主であったとされる古市長門守の娘。絶世の美女で、鉄砲伝来の時の種子島家の島主であった種子島時堯公に寵愛され、集落の人々のために貢献したが若くして亡くなった。その命日とされる旧暦 9 月 22 日には祭礼が行われるなど、真所の人々は今もその遺徳を偲んでいる。境内には河内家の祖とされる河内時元公の墓碑などがある。

浜之里神社の鳥居

## 番号 77 郡原神社

祭神：八王子大国闇戸神

郡原神社は、下中地区郡原集落に鎮座する。種子島氏が鎌倉時代に種子島に入島した折に随伴した家臣である久木原氏が、玉石を御神体に郡原の氏神として勧請したものとされる。

明治 32 年 1 月には、中種子町増田郡原神社に分霊している。こうした縁もあってか、昔は、両方の郡原神社でお互いの集落の大踊りを奉納しあったこともあったという。

また、下中郡原集落の安城踊りは勇壮で大変良い踊りだと評判であったので、茎永上ノ町の人たちが、茅切矢三次氏の父の時代に習いに来たという話が残っている。

郡原神社拝殿

郡原神社の鳥居

# ■ 下中のガロー

（地図 39 頁）

## 番号 78 夏田のガロー (1)

夏田集落の水田の中にガローがあり、そこだけ耕作をせずこんもりしている場所があったという。今はない。

## 番号 79 夏田のガロー (2)

夏田の水田の山際には湧き水があり、その山手にはガローがあり、椎の木が取り木として祀られていたという。今はない。

## 番号 80 三反田のガロー

字三反田にあったガロー。現在は消失している。

## 番号 86 中道のガロー

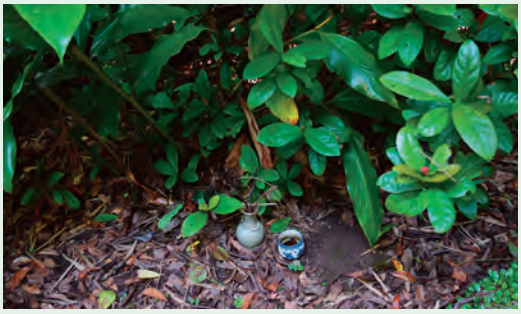
里にあるガローで、里で１番大切なガローであった。

## 番号 83 婆じょうヶ峯のガロー

郡原神社から山手に登った先の峰先にあるガロー。下中でも１番崇るガローで、以前は石が３つあり、石敷きもあったらしい。現在は、天照大明神宮と刻まれた大きな自然石とその横に子供墓と呼ばれる小さな自然石がある。

## 番号 87 里のガロー (1)

里にあるガローで消防詰所の裏手の山。昔は、サンタブの大木が取り木だった。ガローのことを里ではガローヤマと呼んだ。



## 番号 88 里のガロー (2)

里にあるガロー。このガロー山はトックリメンと呼ばれる妖怪がでることで有名だった。

## 番号 89 里のガロー (3)

里にあるガロー山で昔は鳥が多く棲む小さな森だった。また、里から前之浜のほうに行くと、アマギ号という名馬が亡くなったハセオトシという場所があり、そこにはアマギ号を祀った馬頭観音が山の中にソテツと自然石で祀られている。他にも下中地区の牧の神が宇宙ヶ丘公園の郷土館が昔あった辺りにソテツを依り代にしてあったが、今はない。花峰小学校の裏手には、花峰神社という里と山神の人の氏神があったり、昔は、前之浜のイオミノハナという場所に恵比須を祀ったりしていた。

## 番号 90 里のガロー (4)

里にあるガロー山で、ここで小便などをすると祟るという場所だった。

## 番号 91 山神のガロー (1)

山神にあったガローで、大きなエノキの木がガローだとされる。昔は、このエノキの木の前の道を死人を棺桶にいれて通ってはいけなかった。

## 番号 92 山神のガロー (2)

山神にあったガローで森のようになっており、ガローヤマと呼ばれていた。今はない。

## 番号 93 真所のガロー (1)

真所にあるガロー。このガローは馬に由来のあるガローで、このガローに向かって小便などをして高熱がでると、「馬にカンモータ」というものだった。

## 番号 94 真所のガロー (2)

真所にあるガローで、ウトのある大木が取り木だった。このガローの前を死人を入れた棺桶を担いで通ってはいけないというものだった。

### 番号 81 寺川のガロー

郡原集落を流れる寺川付近にあったガロー。現在は正確な場所は分からない。

### 番号 82 内ノ田のガロー　下中郡原

字内ノ田にあったガロー。現在は正確な場所は分からない。

### 番号 84 スゲノクボのガロー

平成８年の山崩れで消滅した。

### 番号 85 喜四クボのガロー

現在は正確な場所は分からない。

# 西之地区

NISHINO AREA

# ■西之の神社・仏閣

（地図 45 頁）

## 番号 95 田代神社

祭神：豊受大神

西之田代に鎮座する、田代集落の氏神。境内横には牧の神も祀られている。また、境内には岩穴と呼ばれる昔のサウナ風呂の跡もある。

## 番号 97 本村神社

祭神：豊受大神

西之本村に鎮座する。本村集落の氏神。江戸時代には、西村織部丞一族の菩提寺である本因寺があったが、廃仏毀釈で廃寺となり、本村神社が建てられた。

## 番号 99 門倉の恵比寿

門倉漁港に鎮座する恵比寿。

## 番号 100 本村の恵比寿

浜ノ山の砂丘の森に鎮座する。周囲には蘇鉄が生え、自然石が祀られている。

## 番号 101 下西目神社

祭神：豊受大神

西之下西目に鎮座する下西目集落の氏神。明治期に西之表上西にある伊勢神社より勧請したもので、その際に御祭神を示す 2 枚の鏡を譲り受けている。

## 番号 102 下西目の恵比寿

下西目漁港に鎮座する。

## 番号 103 中西目神社

祭神：応神天皇、天照大神

西之前之原に鎮座する、小田・前之原集落の氏神。

## 番号 104 前之原の恵比寿

田尻漁港に鎮座する。正月の頃には、鳥居の前面に「チンコロベー」と呼ばれる正月の破魔祈祷の祭具が置かれる。

## 番号 105 野尻の恵比寿

野尻漁港に鎮座する。

## 番号 106 木原神社

祭神：八幡神

西之木原に鎮座する。上西目八幡宮とも呼ばれ、野尻・木原集落の氏神である。上西目は、野尻・木原集落を合わせた呼び名である。秋祭りには、大踊りや中踊りが奉納される。大踊りは、「しんご踊り」と呼ばれる独特のものである。西之岬神社で踊る際は、1番に「国土安穏」を、上西目八幡宮で踊る場合は「この城」を踊り、続いて、しんご踊り、吉原通いを踊る。このしんご踊りは、「野尻しんご」「河内しんご」といって、昔は、この両地区のしんご踊りが競って踊られるものだった。また、中踊りとしては、ヤートセー（清左口説）、ご縁節、お前はたが子が伝承されている。

## 番号 107 木原の恵比寿

木原漁港に鎮座する。

## 番号 108 砂坂の恵比寿

砂坂漁港に鎮座する。

## 番号 109 砂坂神社

祭神：天照大神

砂坂漁港の近くにある砂坂集落の塩釜神社・氏神である。砂坂は島内でも古くから製塩が行われた集落として知られ、砂坂塩屋縁起と呼ばれる古文書も伝わる。

## 番号 110 平野神社

祭神：豊受大神

西之平野に鎮座する平野集落の氏神である。

## 番号 125 西之の牧の神

西之地区全体の牧の神である。元は上瀬田の牧口と見近坂との境界辺りにあったが、大正の中頃に現在の場所に移転した。また、牧の神の横には、種牡牛サージョハナ號之碑がある。

## 番号 96 金剛寺跡

慶応２(1866) 年に廃寺となった、西之田代にあった寺。

# ■西之のガロー

（地図 45 頁）

## 番号 112 木カマスのガロー

本村の鹿鳴川沿いの森にあり、潮祭りで最初に祀りが行われるガロー。井堰の側にあるガローで、水神の意味合いがあるともいい、イゼ元のガローとも呼ばれる。

## 番号 113 浅香野のガロー

本村の浅香野にあり、このガローの森の中には、宝永４年銘のある石碑がある。

## 番号 114 中ん崎のガロー

本村自治公民館横のアコウの大木の根元にある。潮祭りで２番目に祀りが行われるガロー。

## 番号 115 砂坂のガロー

砂坂の集団墓地近くにある。

## 番号 116 野尻のガロー

野尻自治公民館より山手にいった森の中にある。

## 番号 117 木原のガロー

木原集落内にあり、今でも個人が祀りを行っている。

## 番号 118 上小田のガロー

小田集落内にありアコウの大木が取り木である。

## 番号 119 宮園のガロー

前之原集落内の字宮ノ園にあるが、今は取り木は枯れている。

## 番号 120 下西目のガロー

西之の下西目神社の境内にある。徳永家が代々祀ってきたガローで、取り木はタブの大木であったが枯死した。この石は、元々は徳丸ヶ野にあったという。

## 番号 121 平田のガロー

現在は、字「田中」地内となっている。ガローの森はだいぶ失われている。

### 番号 122 宇都のガロー

現在では所在地は不明である。

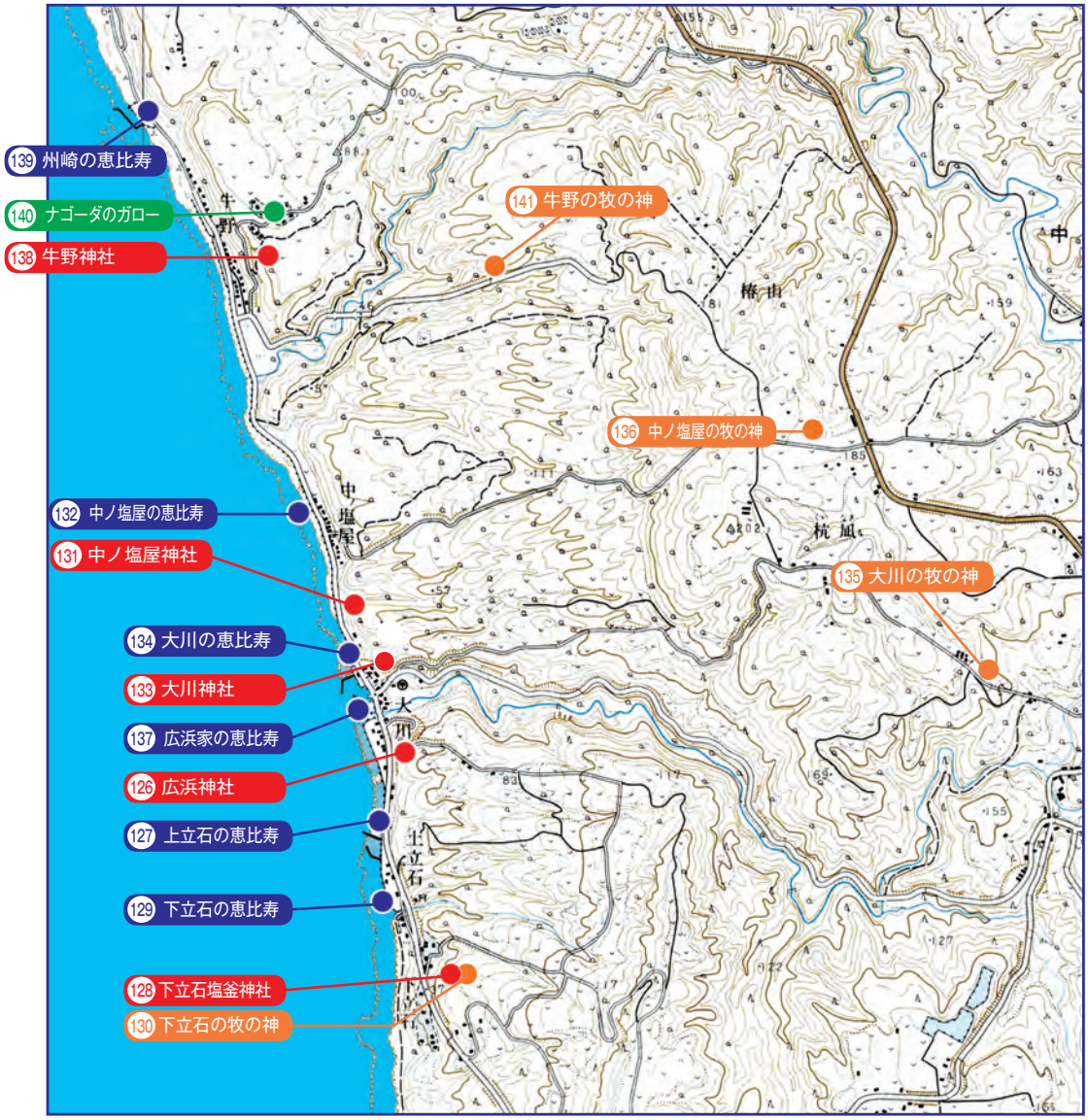
### 番号 123 トノナノソノのガロー

西之平野の字殿ノ薗にあったとされるガロー。現在では所在地は不明である。

## 番号 124 曽中のガロー

地元ではガラン山と呼ばれる場所で自然石がガローとして祀られていた。大正の始め頃に拓いて畑にし、石は橋の材にしたところ、平野の砂糖小屋から飛び火して何軒か火事となるなど 不幸が重なった。「ものしり」に聞いたところ、ガローの石碑を粗末にしたからだとなり、慌てて元の場所に戻したと言う。

# 西海地区




SEIKAI AREA

# ■ 西海の神社・仏閣

（地図 51 頁）

## 番号 126 広浜神社

祭神：恵比寿大神、正八幡大神

西海広浜の宮の森に鎮座する。上立石の氏神で、境内には古い蘇鉄と無数の石碑や石塔が立ち並び独特な景観が広がる。

## 番号 127 上立石の恵比寿

上立石漁港に近い自然石の上に祀られている。西海の岩礁の上に自然石を積み祀られている恵比寿は、浜エビスと呼ばれ、日本の古い恵比寿の姿をそのまま残すとされる。秋の願成就には、1 年の豊漁に感謝し郷土芸能が奉納される。

上立石の恵比寿

上立石の恵比寿の奉納踊り

## 番号 128 下立石塩釜神社

祭神：天照大神

立石塩屋神社とも呼ばれ、西海の下立石に鎮座する。塩釜は、製塩の時に使われた釜のことで、塩屋は、製塩を行う集落のことである。立石は種子島家の古文書に、種子島で最初に製塩をはじめた集落として記録されているから、立石塩屋は、種子島の製塩初地として名高い。社殿こそ、道路拡張等で数度移転しているが、「立石塩竈傳」や「ウマヤキのヤキバン」、貝太郎・貝次郎が鎌倉よりもってきたとされる甕などが由緒ある品々が伝わる。また、1 月には、「火入れ祈祷」と呼ばれる古い神事が今もかわらず行われている。

## 番号 129 下立石の恵比寿

下立石の恵比寿は、立石集落の名前の由来となった立石（高石ともいう）の岩肌に鎮座する。

立石（高石）

下立石の恵比寿

## 番号 130 下立石の牧の神

下立石の塩屋牧の神で、現在は下立石塩釜神社の境内に祀られている。

## 番号 131 中ノ塩屋神社

祭神：天照大神

中ノ塩屋の塩釜神社で、集落の氏神でもある。

## 番号 132 中ノ塩屋の恵比寿

中ノ塩屋の恵比寿も岩礁の上に鎮座する。年に数度の浦祭が行われる。

## 番号 133 大川神社

祭神：天照大神

大川小学校の裏手に鎮座する、大川の塩釜神社で集落の氏神でもある。

境内の山手側には僧道隆の墓がある。

## 番号 134 大川の恵比寿

大川魚港近くの、昔、瀬風呂焚きを行っていた礫浜の奥に鎮座する。自然石を積み上げた典型的な浜エビスで、独特な雰囲気がある。

## 番号 135 大川の牧の神

大川の塩屋牧の神で、牧があった杭凪の字大田尾にある。

## 番号 136 中ノ塩屋の牧の神

字水溜にあった牧の神だが、現在は祀っていない。

## 番号 137 広浜家の恵比寿

大川の河口より海側に入った岩礁に鎮座する。写真の海側の祠が広浜家の恵比寿。手前の祠は、大川に昔いたガラッパ(カッパ)の祠で、昔は、毎年8月に甘酒を供え、祀りをした。

## 番号 138 牛野神社

祭神：塩屋天照大神

牛野の塩釜神社で、集落の氏神でもある。拝殿横には、昔の塩焚きの焚口の遺構が移築されていて、祀られている。

## 番号 139 州崎の恵比寿

牛野の恵比寿ともいい、州崎漁港に鎮座する。州崎漁港ができる前は、牛野の港の手前の岩礁に鎮座していた。願成就の日には、棒踊りなどが奉納される。

牛野の恵比寿跡

現在の州崎の恵比寿

## 番号 141 牛野の牧の神

牛野集落の塩屋牧の神で、馬頭観音ともいう。昔は、この牧の神は、大きなサンタブの木の根元にあり、その近くに力石もあったという。

# ■ 西海のガロー

（地図 51 頁）

## 番号 140 ナゴーダのガロー

西海牛野字長小田にあるガロー。御取木は、アコウの大木で、その根元にある自然石に塩や焼酎を供えて昔は祀りをした。この辺りはメンと呼ばれる妖怪がでるところで、ナゴーダメンとして恐れられている。

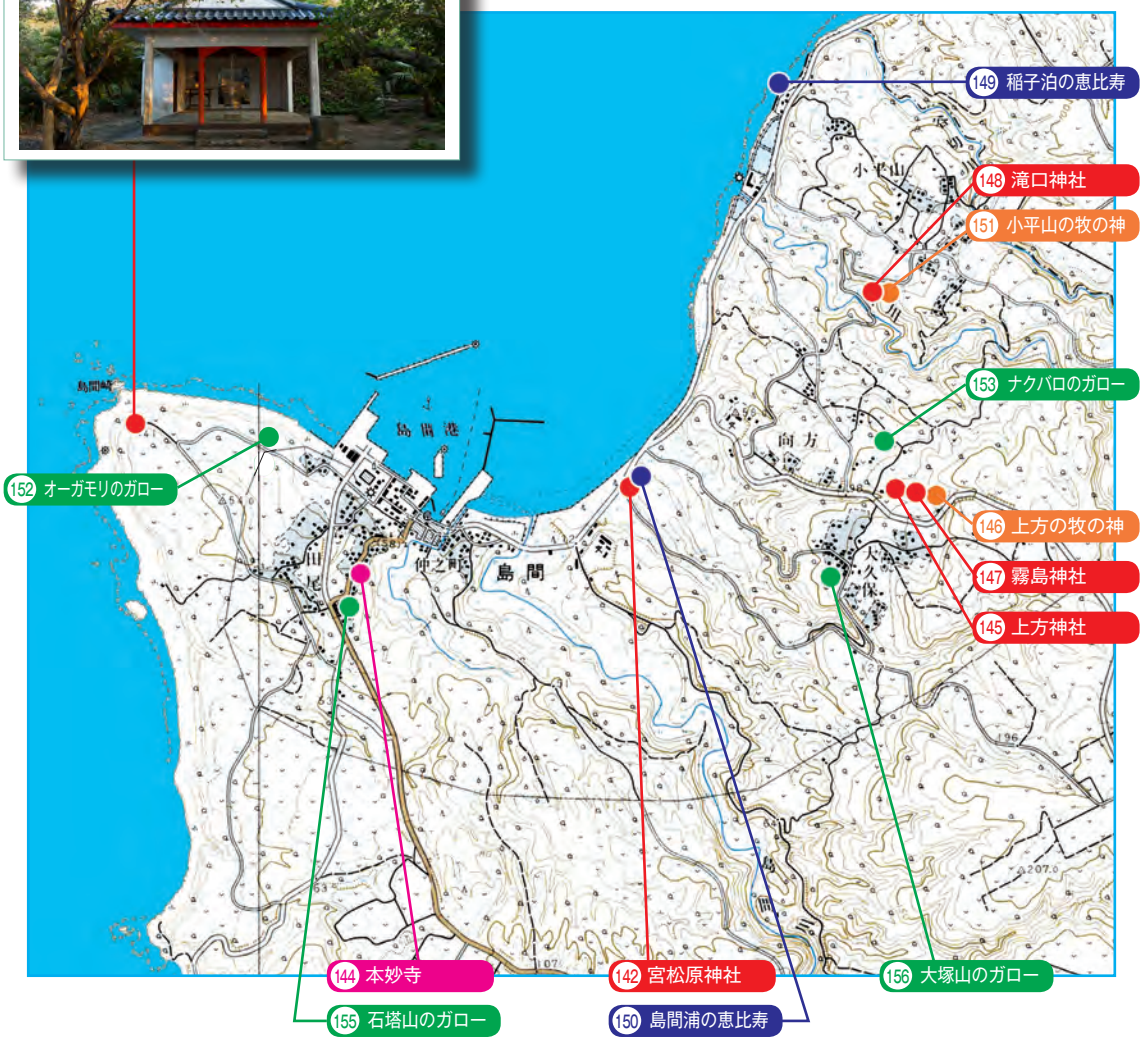
## コラム 西海の隠れ念仏

明治 19 年の大飢饉によって、甑島から種子島に移住してきた方々の多くは、浄土真宗の門徒であった。西海に移住した方々は、江戸時代の「隠れ念仏」時代の古いご本尊を今も大切に守り伝えている。

# 島間地区

22-23 ページ

## 岬神社



# ■ 島間の神社・仏閣

（地図 57 頁）

## 番号 142 宮松原神社

祭神：恵比寿

島間仲之町の宮松原に鎮座する。この神社で、新暦 1 月 25 日に行われる潮 ( しお ) 祭りは、島間中の神社のはじまりの祭りで、島間全体の安泰・豊漁・豊作等を祈願する。また、参加者が浜から石を 1 つずつ持ってきて供えるといった古い習慣が残っており、学術的にも貴重な祭りと言われている。境内には、この地に豊漁をもたらしたとされるシャンキィ婆の石や万の供養塔と呼ばれる魚供養の石碑などもある。

## 番号 144 本妙寺

本妙寺は、島間地区田尾に所在する法華宗の寺である。江戸時代には島間村全体の菩提寺であり、上方にあった。本妙寺の山号は大光山で、その扁額は田上家が所有している。毎年、盆になると精霊棚にミズノコが供えられ、盆踊りとしてヤートセーが踊られる。

## 番号 145 上方神社

祭神：豊受大神

島間向方に鎮座する。江戸時代には本妙寺があったが、廃仏毀釈で寺が取り壊され、豊受大神を勧請し、上方神社となった。本妙寺は島間村全体の菩提寺であったため、その跡地に建てられた上方神社もまた島間地区全体の崇敬を集めている。秋の大祭には、九月踊りが奉納される。

## 番号 146 上方の牧の神

上方神社の境内の隅にある。周囲には蘇鉄が生え、石碑が建てられている。

## 番号 147 霧島神社

祭神：霧島皇大神、天之御中主神

上方神社境内に鎮座する。明治４年に霧島神宮から勧請したと伝えられる。

## 番号 148 滝口神社

祭神：滝口大明神、豊受大神

島間地区小平山集落に鎮座する集落の氏神で、小平山神社ともいう。祭神は、戦国時代に苦難の末に小平山に農業用水路を開発した僧侶の重遠妙恩で、滝口大明神として祀られている。 また、五穀豊穣を祈願し豊受大神も合祀している。境内には、多数の石碑が立ち並んでいる。

## 番号 149 稲子泊の恵比寿

貫門近くの海に面した岩礁に、自然石、珊瑚石などを祀っている。

## 番号 150 島間浦の恵比寿

島間浦の恵比須は何度か遷座した後、現在は宮松原神社に祀られている。元々、島間浦があった辺りの道路脇には、往時を偲ばせる石碑が立ち並ぶ。

## 番号 151 小平山の牧の神

滝口神社の境内にある。

# ■ 島間のガロー

（地図 57 頁）

## 番号 153 ナクバロのガロー

島間上方の上妻城の近くに所在する。

## 番号 155 石塔山のガロー

島間田尾の本妙寺近くの石塔山と呼ばれる聖地にあるガロー。昔は、ここで、石塔祭りをしていたともいわれる。

### 番号 152 オーガモリのガロー

島間田尾の大籠にあったとされるガロー。正確な位置は不明であるが、無数の自然石をつかった石垣や区画が広がる

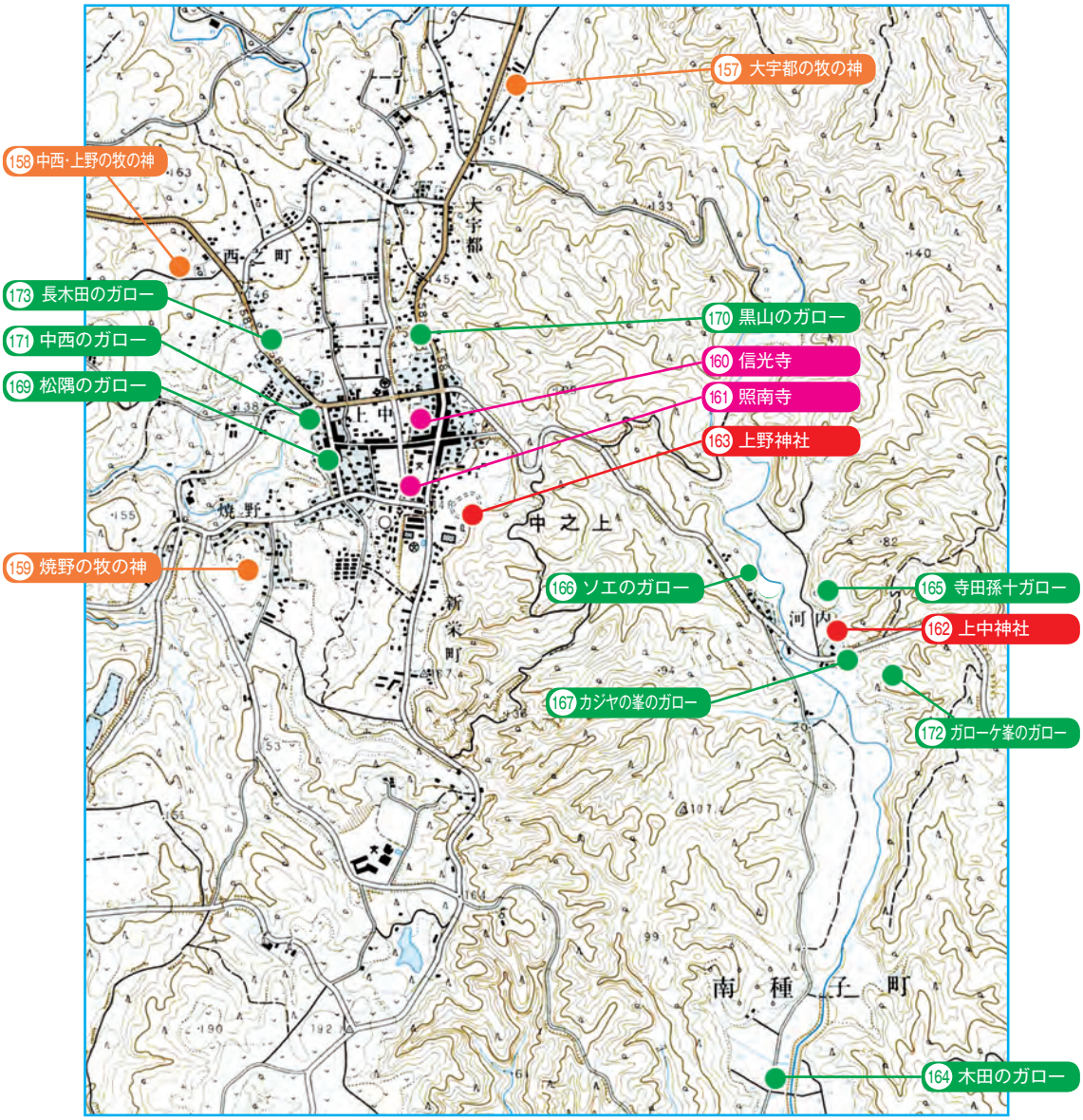
### 番号 154 小平山のガロー

島間小平山にあったとされるガローだが所在不明である。シュウロンとよばれる聖地がそうではないか、という意見もある。

## 番号 156 大塚山のガロー

町指定文化財の大塚山の石塔がある森は、ガローであるという言い伝えがある。

# 上中地区




KAMINAKA AREA

# ■上中の神社・仏閣

（地図 61 頁）

## 番号 157 大宇都の牧の神

上中大宇都にある上中牧の牧の神。上中牧は、茎永の牧であるため茎永の牧の神とする言い伝えもある。

## 番号 158 中西・上野の牧の神

中西に祀られていた牧の神で、上中全体の牧の神でもあったという。今は祀るものもおらず、蘇鉄や自然石、御取木なども不明である。

## 番号 159 焼野の牧の神

焼野公民館前の墓地の一角にある。一説には、野大野牧の牧の神とされるが、そうした牧の神ではなく、馬の神様である馬頭観音であるともいわれる。

## 番号 160 信光寺

上中本町に所在する法華宗本門流の寺。明治２年の廃仏毀釈で廃された信光院を戦後に再興し、寺号を信光寺とした。

## 番号 160 照南寺

上中本町に所在する浄土真宗西本願寺派の寺。昭和５年に平野月性により開基された。境内には、ヤクタネゴヨウが植樹されている。

番号 162

## 上中神社

祭神：日悦上人（僧喜道）、豊受大神

河内に鎮座する上中地区全体の氏神で、その所在する場所から河内神社とも呼ばれる。中世に創建された極楽寺が明治時代の廃仏毀釈の際に神社に変わったものである。願成就の日には、上中の各集落から大踊りや中踊りが奉納される。

番号 163

## 上野神社

祭神：豊受大神

上中前之峰の南種子町総合グラウンド近くに所在する、上中地区の氏神。元は、上野の町役場横にあったが、昭和 41 年に現在地に遷座した。

# ■上中のガロー

（地図 61 頁）

## 番号 164 木田のガロー

上中河内に所在する。昔は、内ノ田の橋の手前に森があった。その場所が木田のガローである。現在は水田となっている。

## 番号 165 寺田孫十ガロー

上中神社の裏山には、河内の人々が盆に参る石塔がある。その石塔の手前に寺田孫十ガローはある。

## 番号 166 ソエのガロー

上中字添にある小薗家のガロー。現在でも「すいみつ様」と呼び祀りを行っている。このガローの祀りは、毎月 1 日と 15 日及び盆正月に行っていた。

## 番号 167 カジヤの峯のガロー

上中神社一之鳥居の正面に広がる森は、カジヤの峯のガローと呼ばれ恐れられていた。

## 番号 168 木場のガロー

現在では所在が不明である。

## 番号 172 ガローヶ峯のガロー

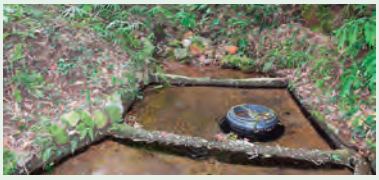
上中平谷のガローヶ峯にあるとされるガローだが、現在では所在不明である。

## 番号 174 上野のガロー 上中所在不明

現在では所在が不明である。

## 番号 169 松隅のガロー

上野公民館の下には、ホトケンコウ（仏ノ川）と呼ばれる湧き水がある。この湧き水は、南種子でも有数の清涼な名水として知られている。この湧き水の湧水地点の側にはガローの取り木があり、松隅のガローと呼ばれていた。現在は、取り木は枯死している。



## 番号 170 黒山のガロー

黒山のガローは日高一族のガローである。黒山には２箇所にガローの取り木があり、１つはサンタブの大木が取り木で、正月６日に祀りをしている。もう１つは２本の椎の木が取り木とな っていて祠が祀られている。

## 番号 171 中西のガロー

字橋口にあるガロー。このガローの周辺は、樟脳川という湧き水がコンコンと湧く所だったという。

## 番号 173 長木田のガロー

字長木田にあるガローで、昔はこの辺りには人家はなく深い森であり大変恐ろしいところだったという。

## あとがき

本町には、多くの神社、お寺、恵比寿、牧の神、ガローがあります。昔から各集落で、あるいは農民や漁民たちが、家内の安全、豊作や大漁などを祈願していたものと思われます。これらの神々の由来や所在地をまとめ、地図におとしたものがこの冊子であります。ガローを除いた神々は、概ね確認できたものと思っております。

ガローについては、下野敏見氏の著書に記載されたものを基本に所在地の確認調査から始めました。文化財保護審議会の委員の方々に協力を得て、出身校区の古老の方々を紹介して頂き、聞き取り調査を致しました。新しい発見もありましたが、所在地さえ不明のものもあります。現在でも管理者が居て、祭祀を行って居るものもありましたが、大部分は、祭祀者その他が不明であります。

概ね、椎、たぶ、アコーの大木を依り木として祭祀が行われていますが、サンゴ礁を積んだ祭壇があるもの、自然石を立てているもの、山川石に碑文を刻んだもの、コンクリート製の社、何も無いものもありました。ごく大雑把な言い方ですが、水田地帯は水田の周辺と、人家の周辺に見られ、井戸があることが多く、畑作地帯では、人家の周辺と、道路（旧道）の脇に見られます。さらには、基盤整備、道路や水路の新設や拡張などにより、存在が無くなったものもあります。

ガローの信仰が、何時ごろから始まったのか、知ることは不可能であります。当初は信仰の対象やご利益、祭祀の方法などもはっきりしていたものと思われますが、永い年月の経過の中に忘れられ、現在では強い祟りのある神として記憶されています。町内に９５ケ所も存在し、かっては生活に深い関わりがあったものと推察されますが、現在も祭祀を行っている僅かな方々も、由来等は伝えられてはおりません。

この冊子を手に取って、多くの神々に関心を持って頂き、先祖や古老の方々から聞かされた事例がありましたら、お知らせ下さるようお願い致します。

南種子町文化財保護審議会委員長　長田　忠記

平成 30 年 3 月

南種子町文化財保護審議会委員

柳田　和則　　日髙　友典　　岩澤　昭文　　稗畠　悦朗

南種子町の神社・仏閣

発行日　平成 30 年 3 月初版

発　行　南種子町教育委員会
南種子町文化財保護審議会
〒891-3792 熊毛郡南種子町中之上 2793-1
TEL 0997-26-1111

印　刷　㈲種子島新生社印刷

# 南種子町の
# 神社・仏閣

SHRINES AND TEMPLES OF MINAMITANE

南種子町教育委員会
南種子町文化財保護審議会

表紙写真：平山神社境内と鳥居
写真：氷森記心（南種子町地域おこし協力隊）